

令和7年5月20日 第12回野生イノシシ豚熱対策検討会

宮崎県における野生いのししの豚熱感染確認と その対策状況について

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課
野生動物対策班

1. 概要及び経緯

- ・令和7年4月、宮崎県において、南九州初となる野生イノシシでの豚熱感染が確認された。
- ・九州では宮崎県のほかに、佐賀県(令和6年6月)、長崎県(令和7年2月)で発生が確認。
- ・現時点で宮崎県含め40都府県において野生イノシシの豚熱感染が確認されている。

【陽性個体詳細】

- 死体発見日：4月9日
- 死体発見場所：宮崎県都城市
- 個体情報
性別：オス 体長：約50cm 体重：約20kg



(宮崎県豚熱対策本部会議資料より)

- 経緯
4月9日 地域住民が用水路でイノシシが死んでいるのを発見。都城市役所を通じて県へ連絡。
4月10日 家畜保健衛生所に搬入し検査。豚熱を疑う結果が得られたため国へ通報。
4月11日 農研機構動物衛生研究部門での検査結果を踏まえ野外株陽性と判定。
牛豚等疾病小委員会を開催し、宮崎県全域を経口ワクチン推奨地域に指定。
サーベイランス、捕獲などの対策強化について通知の発出。
4月12日 専門家による現地調査の実施。
4月16日・17日 経口ワクチン散布の実施。

2. 対策状況

(1) 通知発出

- 消費・安全局長より、九州7県知事に対し、対策強化通知・捕獲強化通知（4月11日）を発出。
- 各県において通知を踏まえた、対策強化を実施。

①サーベイランス及び捕獲の強化

個体密度低下による感染拡大の防止

4月から7月をサーベイランス強化期間とし、感染確認地域を中心に毎月60頭以上の検査を目標

②経口ワクチンの散布（佐賀県、長崎県、宮崎県のみ）

イノシシ同士の接触による感染拡大の防止（※ウイルスの封じ込め）

③人によるウイルス拡散防止

人によるウイルスの持出し（持込み）防止対策：地域住民等への豚熱対策の周知徹底

④飼養衛生管理の徹底

飼養豚の健康観察、飼養管理の再点検、ワクチンの適時・適切な接種、埋却地の確保

2. 対策状況

(2) 現地調査の実施

●実施日

2025年4月12日（土）14:15～15:15（調査）、15:45～17:30（意見交換）

●参加者

明治アニマルヘルス株式会社 テクニカルアドバイザー 津田 知幸

農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 動物行動管理グループ 上級研究員 平田 滋樹
宮城県、都城市、県猟友会、農林水産省

●調査概要

①発見現場周辺の確認

- ・陽性個体が発見された用水路周辺を調査。
- ・野生動物の痕跡はあるが明確にイノシシのものと思われる新しい痕跡は少なく、周辺のイノシシの生息密度は高くないと思われた。
- ・周辺の養豚場には防護柵があり、侵入防止対策が取られていた。

②関係者との意見交換（於：都城家畜保健衛生所）

- ・専門家より、経口ワクチンの散布や農場への侵入防止等について技術的助言。
- ・経口ワクチン散布に係る手続き等、今後の対応について、質疑応答を実施。

【現地調査の様子】



【意見交換の様子】



2. 対策状況

(3) 緊急経口ワクチン散布

【1回目】

実施日 : 2025年4月16～17日
散布個数 : 2,246個
散布地 : 都城市、小林市、高原町の112地点
地点選定 : 陽性確認地点の周辺10km圏内を中心に散布
散布体制 : 10班/日 1班4名で実施 (のべ19班、84名)
散布人員 : 県、市町、県猟友会、国 (農水省、九州農政局)

【2回目】

実施日 : 2025年5月14日
散布個数 : 2,080個
散布地点 : 都城市、小林市、高原町の99地点
地点選定 : 陽性確認地点の周辺10km圏内を中心に散布
散布体制 : 10班/日 1班4名で実施 (合計10班、40名)
散布人員 : 県、市町

【経口ワクチン散布の様子】

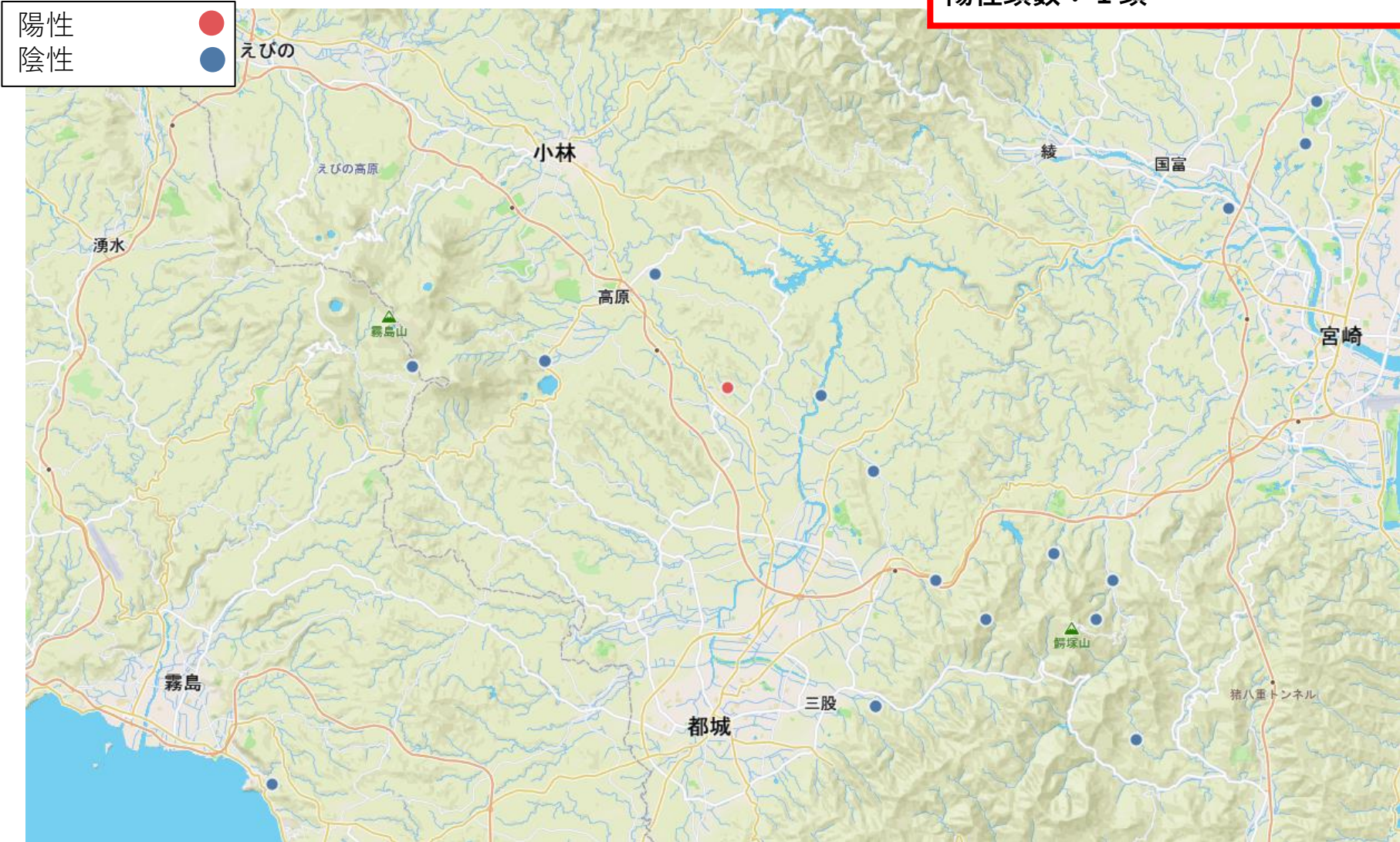


2. 対策状況

(4) 宮崎県検査野生イノシシ検査状況

※令和7年4月9日以降に確認された野生イノシシ陽性及び陰性個体の発見地点をプロット

検査結果（5月15日時点）
1例目発見地点から10km圏内において
検査頭数：6頭（宮崎県全域：29頭）
陽性頭数：1頭

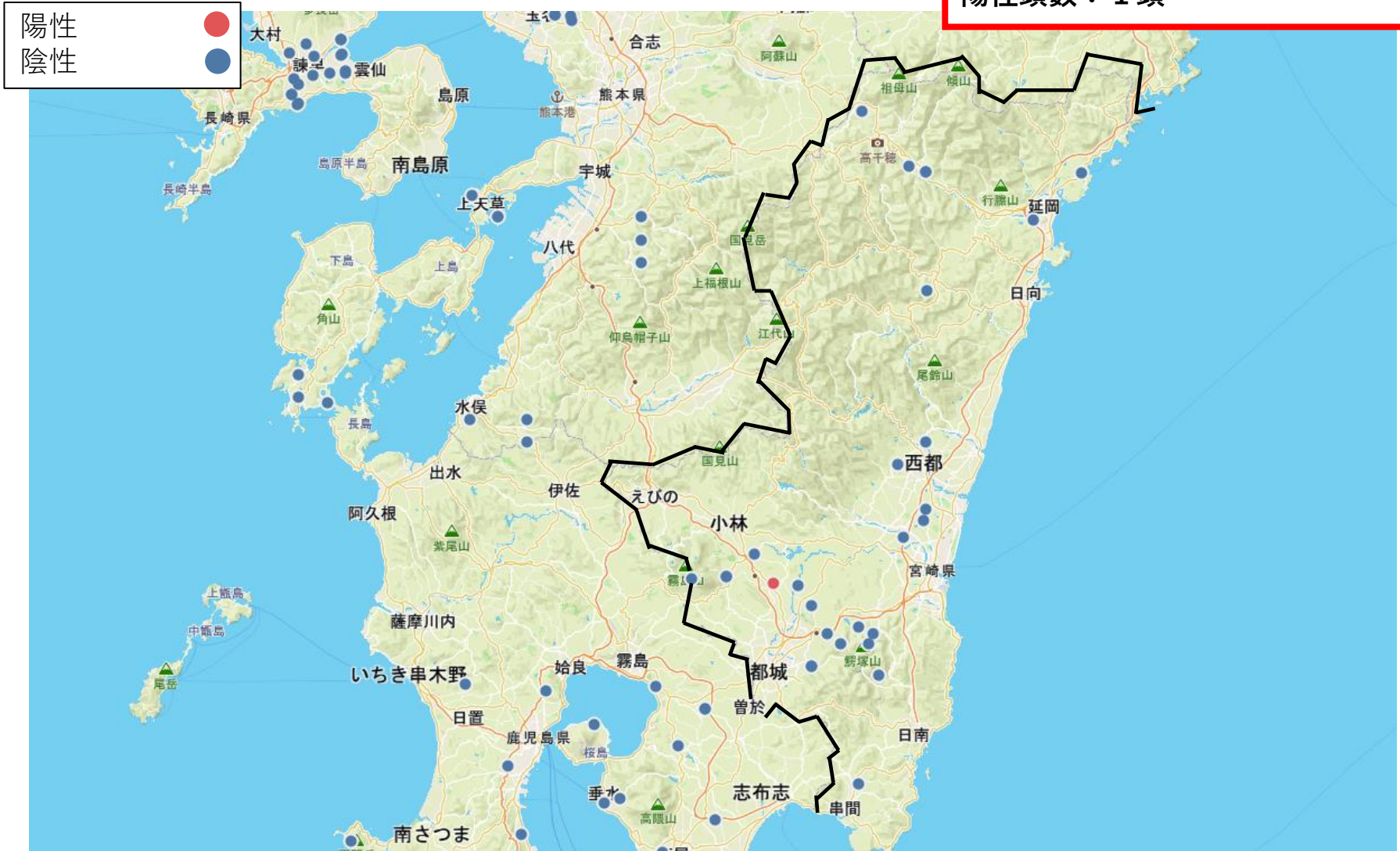


2. 対策状況

(4) 宮崎県検査野生イノシシ検査状況

※令和7年4月9日以降に確認された野生イノシシ陽性及び陰性個体の発見地点をプロット

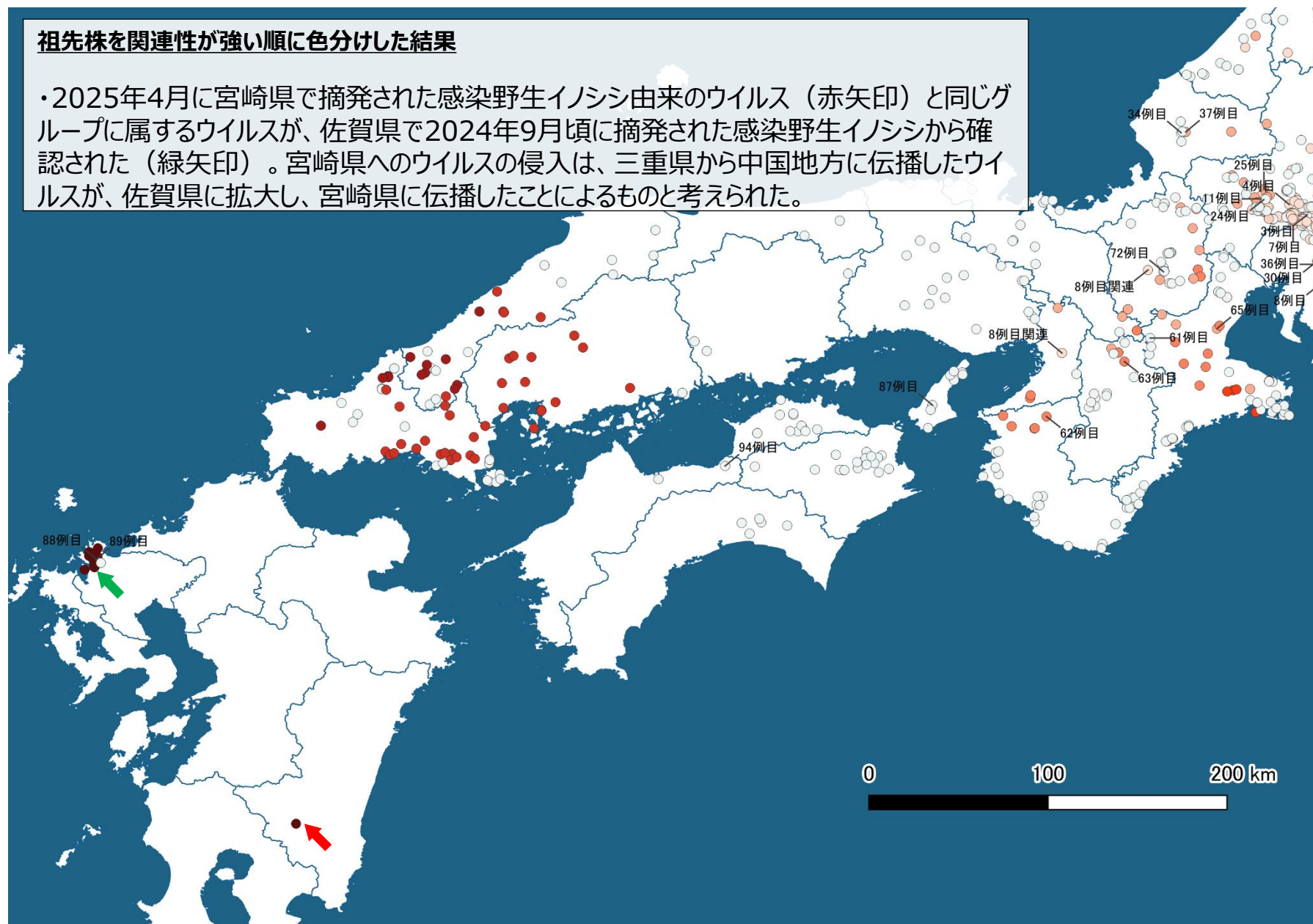
検査結果（5月15日時点）
1例目発見地点から10km圏内において
検査頭数：6頭（宮崎県全域：29頭）
陽性頭数：1頭



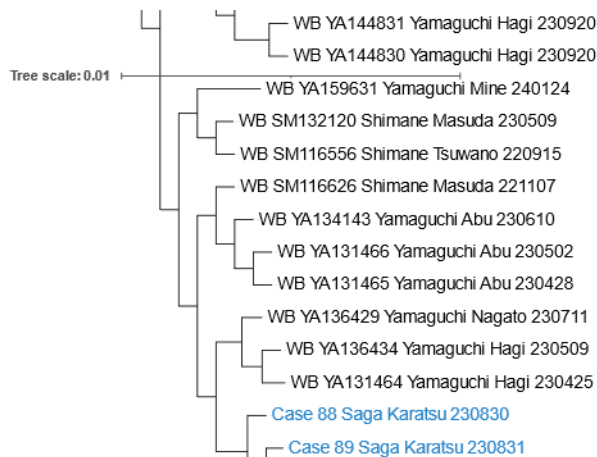
3. 全ゲノム解析について

祖先株を関連性が強い順に色分けした結果

・2025年4月に宮崎県で摘発された感染野生イノシシ由来のウイルス（赤矢印）と同じグループに属するウイルスが、佐賀県で2024年9月頃に摘発された感染野生イノシシから確認された（緑矢印）。宮崎県へのウイルスの侵入は、三重県から中国地方に伝播したウイルスが、佐賀県に拡大し、宮崎県に伝播したことによるものと考えられた。



3. 全ゲノム解析について



宮崎県の野生イノシシから検出されたウイルスは
佐賀県の感染野生イノシシ由来のウイルスと極めて近縁

佐賀県野生イノシシ

長崎県野生イノシシ

宮崎県野生イノシシ

